

第4章 配偶関係

4-1 全国の15歳以上人口の配偶関係

<全国の配偶関係>

男性で高い未婚率，女性で高い死別率

平成17年国勢調査による15歳以上人口（男性5309万人，女性5668万人）を配偶関係別にみると，有配偶者は男性が3226万人，女性が3232万人で，15歳以上人口に占める割合（有配偶率）はそれぞれ60.8%，57.0%となっている。

未婚者の割合（未婚率）は，男性が31.4%（1669万人），女性が23.2%（1315万人）と，男性の方が高くなっている。これは，男性が女性に比べ初婚年齢が高く，若年層の未婚者が多いことなどによる。

一方，死別者の割合（死別率）は，男性が2.9%（152万人），女性が13.5%（766万人）と，女性の方が大幅に高くなっている。これは，一般に妻の年齢が夫に比べ低いことに加え，女性の平均寿命が男性に比べ長いことなどによる。また，離別者の割合（離別率）は男性が3.3%（174万人），女性が5.2%（296万人）となっている。

（図4-1，表4-1，表4-2）

図4-1 男女，配偶関係別15歳以上人口—全国（平成17年）

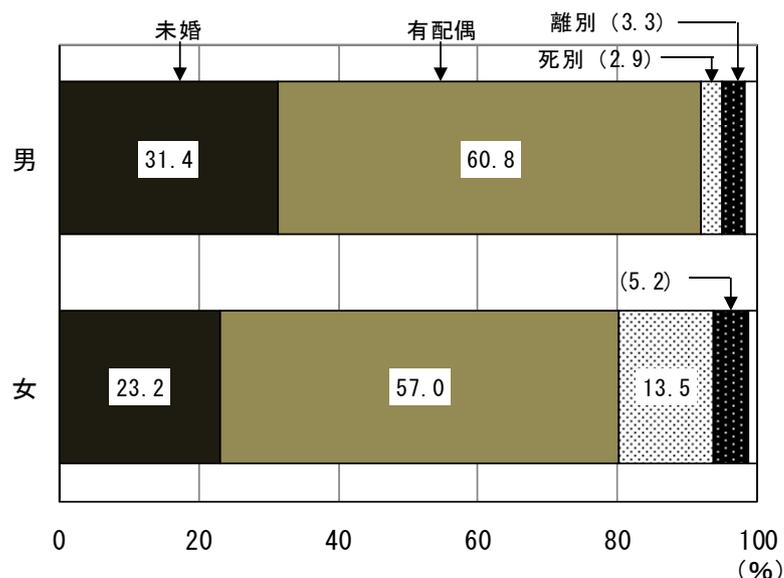


表4-1 平均婚姻年齢及び夫妻の年齢差の推移—全国（昭和45年～平成17年）

年次	全 婚 姻		初 婚		年 齢 差	
	夫	妻	夫	妻	全 婚 姻	初 婚
昭和 45年	27.6	24.6	26.9	24.2	3.0	2.7
50年	27.8	25.2	27.0	24.7	2.6	2.3
55年	28.7	25.9	27.8	25.2	2.8	2.6
60年	29.3	26.4	28.2	25.5	2.9	2.7
平成 2年	29.7	26.9	28.4	25.9	2.8	2.5
7年	29.8	27.3	28.5	26.3	2.5	2.2
12年	30.4	28.2	28.8	27.0	2.2	1.8
17年	31.7	29.4	29.8	28.0	2.3	1.8

資料：人口動態統計（厚生労働省）

表4-2 男女、配偶関係別15歳以上人口の割合の推移—全国（大正9年～平成17年）

男女、年次	配偶関係別割合				平成17年の年齢構成で標準化した配偶関係別割合			
	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
男								
大正 9年	29.3	62.9	6.0	1.9	15.5	69.8	12.7	2.0
14年	30.0	62.6	5.7	1.8	15.1	70.3	12.7	2.0
昭和 5年	32.3	60.9	5.4	1.4	16.1	69.7	12.5	1.6
10年	33.2	60.1	5.4	1.4	17.0	69.1	12.3	1.6
15年	35.0	58.7	6.3 ¹⁾		18.3	68.3	13.5 ¹⁾	
25年	34.3	60.3	4.5	0.9	16.8	71.1	11.0	1.0
30年	35.3	59.7	4.1	0.9	17.7	71.0	10.2	1.1
35年	34.8	60.8	3.5	0.9	18.4	71.6	8.8	1.1
40年	34.5	61.7	3.0	0.8	18.5	72.8	7.6	1.0
45年	32.4	64.1	2.7	0.8	18.7	73.7	6.5	1.0
50年	29.1	67.4	2.6	0.9	19.2	73.9	5.7	1.1
55年	28.5	67.6	2.4	1.2	21.0	72.6	4.9	1.3
60年	29.6	66.2	2.4	1.6	23.1	70.8	4.3	1.6
平成 2年	31.2	63.8	2.4	1.8	24.9	68.9	3.7	1.9
7年	32.1	62.6	2.5	2.2	27.0	66.7	3.4	2.2
12年	31.8	61.8	2.7	2.7	29.0	64.0	3.1	2.7
17年	31.4	60.8	2.9	3.3	31.4	60.8	2.9	3.3
女								
大正 9年	18.7	63.1	15.8	2.4	8.9	56.8	32.1	2.3
14年	19.1	63.0	15.6	2.3	8.4	56.9	32.4	2.2
昭和 5年	21.2	61.4	15.5	1.9	9.3	56.3	32.6	1.9
10年	22.6	60.2	15.4	1.8	10.1	55.6	32.4	1.8
15年	24.9	58.2	17.0 ¹⁾		11.2	54.6	34.1 ¹⁾	
25年	25.7	56.2	16.1	1.9	11.6	53.4	33.1	1.9
30年	27.1	55.7	15.2	2.0	12.9	53.3	31.8	2.0
35年	26.9	56.7	14.2	2.1	13.6	54.1	29.9	2.3
40年	27.1	57.9	13.1	1.9	13.7	55.8	28.3	2.1
45年	24.9	60.2	12.8	2.1	13.9	57.1	26.8	2.3
50年	21.5	63.7	12.7	2.1	14.3	58.7	24.8	2.2
55年	20.9	64.0	12.4	2.5	15.2	59.5	22.4	2.6
60年	21.7	62.5	12.7	3.0	16.4	59.7	20.7	3.0
平成 2年	23.4	60.4	12.3	3.2	17.9	59.8	18.4	3.3
7年	24.0	59.1	12.7	3.7	19.6	59.3	16.9	3.7
12年	23.7	58.2	13.0	4.4	21.3	58.4	15.1	4.4
17年	23.2	57.0	13.5	5.2	23.2	57.0	13.5	5.2

注) 標準化は、平成17年の全国の男女、年齢（5歳階級）別15歳以上人口を標準人口として計算した。すなわち、15歳以上人口の年齢構成が仮に平成17年の年齢構成と同じであったとした場合に、配偶関係別割合がどうなるかを計算したものである。

標準化した配偶関係別割合 m'^t は次式によって求められる。

$$m'^t = \frac{\sum_{i=1}^n m_i^t \times P_i^{17}}{\sum_{i=1}^n P_i^{17}}$$

m : 配偶関係別割合, P^{17} : 平成17年国勢調査時点の15歳以上人口, t : 年次, i : 年齢階級

1) 配偶関係「死別」及び「離別」の合計

年齢構成の変化の影響を除去すると、未婚率は上昇傾向

15歳以上人口の配偶関係別割合の推移をみると、男女共に、未婚率は平成12年から低下し、有配偶率は昭和60年から低下している。死別率は昭和55年以降横ばい傾向にあったが、平成7年以降は上昇している。また、離別率は、昭和50年まであまり変化はなかったが、婚姻件数の低下と離婚件数の増加を反映し、55年以降は上昇している。

配偶関係別割合の変化には、配偶関係そのものの変化のほか、調査時点の年齢構成の変化の影響も含まれるため、平成17年の年齢構成で標準化した配偶関係別割合をみると、未婚率及び離別率は上昇傾向、有配偶率及び死別率は低下傾向にある。

(図4-2, 表4-2, 表4-3)

図4-2 15歳以上人口の男女別未婚率及び標準化未婚率の推移
—全国(昭和25年～平成17年)

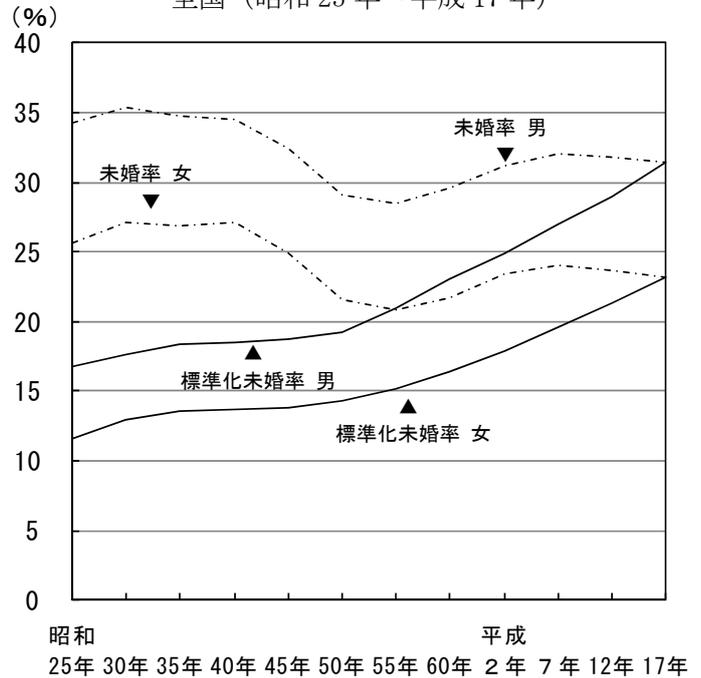


表4-3 婚姻件数及び離婚件数の推移 (昭和25年～平成17年)

項目	(千件)										
	昭和25年	35年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	
婚姻件数	715	866	1,029	942	775	736	722	792	798	714	
離婚件数	84	69	96	119	142	167	158	199	264	262	

資料：人口動態統計(厚生労働省)

<年齢階級別配偶関係>

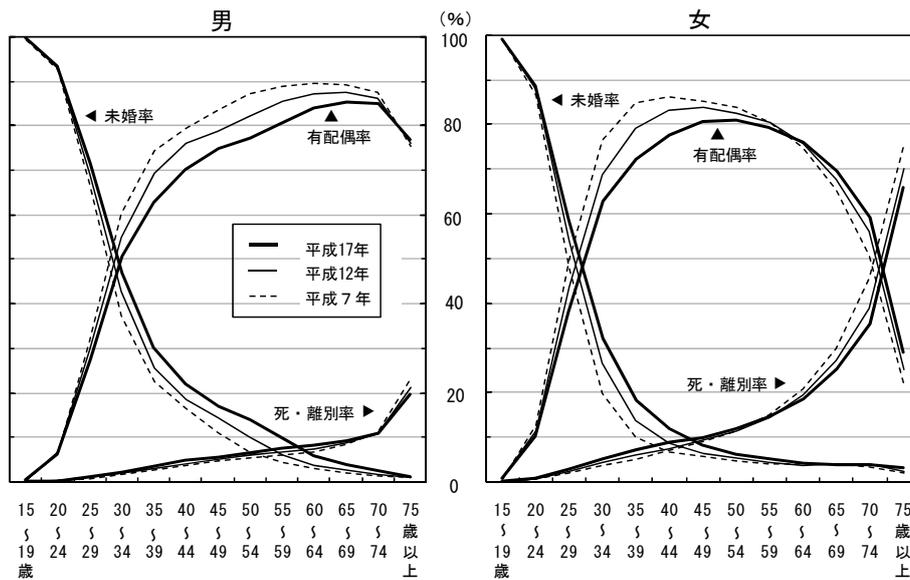
65歳未満の各年齢階級で女性より高い男性の未婚率

未婚率を年齢階級別にみると、男女共に年齢が上がるにつれて低くなっている。これを男性についてみると、20～24歳の93.4%から、25～29歳では71.4%、30～34歳では47.1%へと低下している。女性も、20～24歳の88.7%から、25～29歳では59.0%、30～34歳では32.0%へと低下している。また、男性と女性の未婚率を比べると、65歳未満の各年齢階級では男性の方が高くなっている。

(図4-3, 表4-4)

ⁱ 年齢構成の変化による影響を取り除くため、各年の我が国の人口が平成17年と同じ年齢構成であったと仮定した。

図4-3 男女、年齢（5歳階級）、配偶関係別15歳以上人口の割合—全国（平成7年～17年）



30～34歳女性の未婚率は上昇幅が拡大して、昭和25年以降初めて3割台に

未婚率の推移を年齢階級別にみると、昭和50年ごろから、若い年齢層を中心に未婚率が大幅に上昇している。特に、女性の未婚率は、25～29歳では昭和60年から平成7年までに17.4ポイント、7年から17年までに11.0ポイント上昇し、上昇幅は縮小しているものの17年には59.0%とほぼ6割となっている。30～34歳では昭和60年から平成7年までに9.3ポイント、7年から17年までに12.3ポイント上昇と上昇幅が拡大して、17年には32.0%となり、昭和25年以降初めて3割を上回っている。

男性の未婚率も、女性と同様に上昇しており、25～29歳では昭和60年の60.4%から平成17年には71.4%に、30～34歳でも28.1%から47.1%になっている。

(図4-4、表4-4)

図4-4 20歳から39歳までの男女、年齢（5歳階級）別未婚率の推移—全国（昭和25年～平成17年）

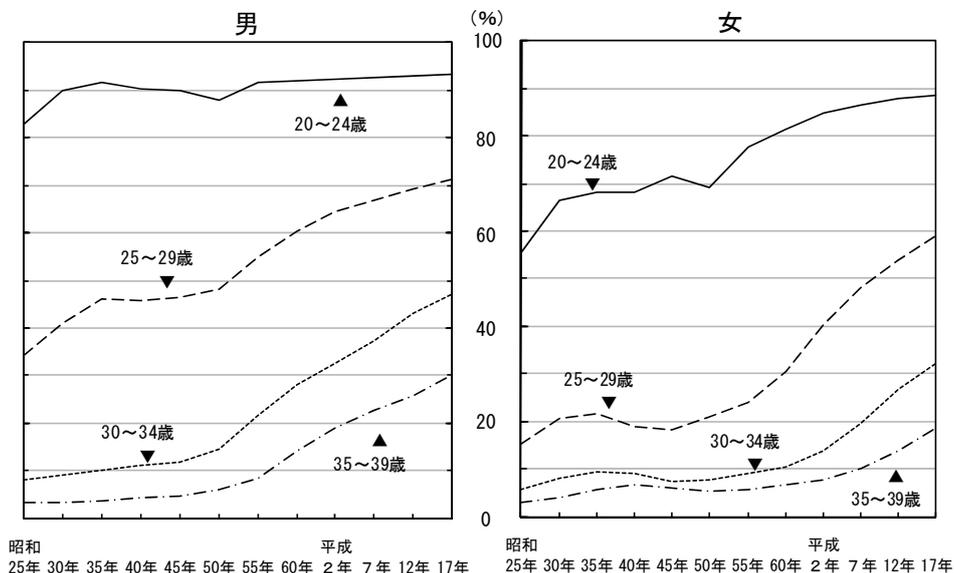


表4-4 男女、年齢（5歳階級）、配偶関係別15歳以上人口の割合の推移
—全国（昭和60年～平成17年）

(%)

男女、 年齢	未婚					有配偶					死別					離別				
	昭和 60年	平成 2年	7年	12年	17年	昭和 60年	平成 2年	7年	12年	17年	昭和 60年	平成 2年	7年	12年	17年	昭和 60年	平成 2年	7年	12年	17年
男	29.6	31.2	32.1	31.8	31.4	66.2	63.8	62.6	61.8	60.8	2.4	2.4	2.5	2.7	2.9	1.6	1.8	2.2	2.7	3.3
15～19歳	99.4	98.5	99.2	99.5	99.6	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24	92.1	92.2	92.6	92.9	93.4	7.4	6.2	6.5	6.8	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3
25～29	60.4	64.4	66.9	69.3	71.4	38.7	33.9	31.6	29.6	27.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.8	1.0	1.1
30～34	28.1	32.6	37.3	42.9	47.1	70.2	65.2	60.4	54.9	50.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.4	1.4	1.6	2.0	2.2
35～39	14.2	19.0	22.6	25.7	30.0	83.2	78.1	74.3	69.2	62.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	2.2	2.2	2.4	3.0	3.5
40～44	7.4	11.7	16.4	18.4	22.0	89.2	84.3	79.4	76.1	70.3	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	2.7	3.0	3.2	3.6	4.5
45～49	4.7	6.7	11.2	14.6	17.1	91.5	88.5	83.4	78.8	74.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.5	2.8	3.4	4.0	4.3	5.0
50～54	3.1	4.3	6.7	10.1	14.0	92.6	90.4	87.0	82.2	77.2	1.5	1.5	1.4	1.2	1.1	2.7	3.3	4.2	4.9	5.5
55～59	2.1	2.9	4.3	6.0	9.8	93.0	91.3	88.8	85.6	80.5	2.6	2.4	2.3	2.2	1.9	2.2	2.8	3.7	4.7	5.7
60～64	1.6	2.0	2.9	3.8	5.8	92.2	91.4	89.5	87.2	83.9	4.3	4.0	3.8	3.5	3.2	1.9	2.2	3.0	4.0	5.1
65～69	1.2	1.4	1.9	2.5	3.7	90.3	90.2	89.1	87.4	85.3	6.8	6.3	6.0	5.6	5.0	1.6	1.8	2.2	3.1	4.2
70～74	0.9	1.0	1.4	1.7	2.4	86.0	87.4	87.3	86.1	85.0	11.6	9.8	9.4	8.7	7.9	1.4	1.4	1.7	2.1	3.0
75歳以上	0.7	0.8	0.9	1.0	1.3	70.4	73.7	75.5	75.9	76.7	27.6	23.8	22.1	19.9	18.2	1.1	1.2	1.2	1.3	1.6
女	21.7	23.4	24.0	23.7	23.2	62.5	60.4	59.1	58.2	57.0	12.7	12.3	12.7	13.0	13.5	3.0	3.2	3.7	4.4	5.2
15～19歳	98.9	98.2	98.9	99.1	99.1	0.9	0.7	0.6	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
20～24	81.4	85.0	86.4	87.9	88.7	17.9	13.5	12.6	11.3	10.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.5	0.7	0.9
25～29	30.6	40.2	48.0	54.0	59.0	67.7	57.5	49.6	43.5	38.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.5	1.6	1.8	2.4	2.6
30～34	10.4	13.9	19.7	26.6	32.0	86.1	82.7	76.4	68.9	62.7	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	3.0	2.9	3.4	4.2	4.9
35～39	6.6	7.5	10.0	13.8	18.4	88.3	87.3	84.7	79.2	72.4	0.9	0.7	0.6	0.5	0.5	4.1	4.2	4.4	5.6	6.9
40～44	4.9	5.8	6.7	8.6	12.1	88.4	87.1	86.1	83.3	77.5	2.1	1.6	1.3	1.2	1.0	4.6	5.2	5.6	6.3	8.0
45～49	4.3	4.6	5.6	6.3	8.2	86.9	86.4	85.0	83.7	80.5	4.3	3.4	2.6	2.3	2.0	4.5	5.3	6.4	7.0	8.1
50～54	4.4	4.1	4.5	5.3	6.1	83.6	84.2	83.8	82.4	80.9	7.6	6.5	5.3	4.2	3.7	4.3	4.8	6.0	7.3	8.2
55～59	4.4	4.2	4.1	4.3	5.2	78.1	79.9	80.6	80.3	79.2	13.1	11.1	9.8	8.1	6.5	4.4	4.3	5.1	6.4	8.0
60～64	3.5	4.2	4.1	3.8	4.2	68.6	73.0	74.7	75.7	76.1	23.6	18.1	16.4	14.3	11.9	4.2	4.2	4.3	5.2	6.7
65～69	2.4	3.4	4.2	3.9	3.8	54.8	61.0	65.6	67.8	69.6	39.3	31.0	25.7	23.0	20.1	3.4	3.9	4.0	4.3	5.3
70～74	1.7	2.3	3.4	4.0	3.9	40.5	45.1	50.7	56.1	59.3	55.1	48.6	41.8	34.9	31.3	2.6	3.1	3.7	3.9	4.2
75歳以上	1.1	1.4	1.9	2.5	3.2	18.6	20.8	22.0	25.2	29.1	78.2	74.2	73.1	67.4	62.7	1.8	2.1	2.3	2.8	3.1

有配偶率のピークは男性が65～69歳、女性が50～54歳

有配偶率を年齢階級別にみると、男性は65～69歳の85.3%、女性は50～54歳の80.9%をピークとした「山型」となっている。これは、若い年齢階級では未婚者が多く、70歳以上の年齢層では死別者が多くなるためである。有配偶率を男性と女性で比べると、55歳未満の各年齢階級では女性の方が男性より高く、55歳以上の各年齢階級では逆に男性の方が高くなっている。
(図4-3、表4-4)

有配偶率は35～39歳を中心に低下傾向

年齢階級別有配偶率を平成12年と比べると、未婚率の上昇とは逆に、男女共に35～39歳を中心に低下している。男性では、35～39歳で69.2%から62.7%へ6.5ポイント、40～44歳で76.1%から70.3%へ5.8ポイントとそれぞれ低下するなど、30歳から64歳までの各年齢階級で3ポイントを上回る低下となっている。また、女性も、35～39歳で79.2%から72.4%へ6.8ポイント、30～34歳で68.9%から62.7%へ6.1ポイントとそれぞれ低下するなど、25歳から49歳までの各年齢階級で3ポイントを上回る低下となっている。

なお、60歳以上の女性の有配偶率は、各年齢階級で上昇しているが、これは平均余命が延びたことにより死別率が低下したことが主な要因と考えられる。

(図4-3, 表4-4)

＜国際比較＞

我が国の未婚率は、男女共に各年齢階級でアメリカ合衆国、カナダに比べ高い

50歳未満の年齢階級別未婚率を欧米諸国と比べると、調査年の相異などから厳密な比較は困難であるものの、男性は、15歳から29歳までの各年齢階級では、ヨーロッパ諸国に比べおおむね低く、アメリカ合衆国及びカナダに比べ高くなっている。しかし、年齢の上昇とともに相対的に高くなり、45～49歳では、スウェーデンを除く欧米諸国よりも高くなっている。

一方、女性の未婚率は、すべての年齢階級で、スウェーデン及びフランスに比べ低く、アメリカ合衆国及びカナダに比べおおむね高く、イギリス、ドイツ及びイタリアと近い水準となっている。

(表4-5)

表4-5 諸外国の年齢(5歳階級)別50歳未満人口の未婚率

									(%)
男女, 年齢	日本 (2005)	アメリカ合衆国 (2000)	カナダ (2001)	イギリス ¹⁾ (2001)	フランス (1999)	ドイツ (2001)	イタリア (2001)	スウェーデン (2003)	
男									
15歳以上計	31.4	30.3	30.3	33.9	38.5	31.4	33.8	44.4	
15～19歳	99.6	95.8	98.9	99.5	99.8	99.8	99.9	99.9	
20～24歳	93.4	78.8	85.3	95.3	97.7	94.1	96.8	97.6	
25～29歳	71.4	49.2	53.3	74.1	80.0	71.8	79.6	87.8	
30～34歳	47.1	29.6	30.8	45.6	51.2	46.7	47.2	67.8	
35～39歳	30.0	} 17.9	21.3	28.7	34.6	29.5	26.2	51.1	
40～44歳	22.0		15.7	19.2	22.8	19.6	16.9	40.0	
45～49歳	17.1	²⁾ 9.7	11.7	13.9	15.0	13.5	12.2	31.2	
女									
15歳以上計	23.2	24.1	24.2	26.9	31.3	23.0	26.1	35.3	
15～19歳	99.1	94.1	96.9	98.6	99.3	98.9	99.1	99.5	
20～24歳	88.7	69.1	73.3	88.5	93.1	84.1	87.4	93.0	
25～29歳	59.0	38.1	38.9	60.6	66.2	52.8	58.5	77.3	
30～34歳	32.0	21.9	21.1	34.5	40.0	29.6	30.0	54.2	
35～39歳	18.4	} 13.4	14.6	20.9	26.2	17.5	17.3	40.2	
40～44歳	12.1		11.4	13.1	16.7	11.3	11.9	30.5	
45～49歳	8.2	²⁾ 8.0	9.0	8.8	11.6	7.8	9.1	22.9	

1) 16歳以上 2) 45～54歳

資料: United Nations, *Demographic Yearbook Special Census Topics*による。

日本は、国勢調査による。

4-2 都道府県の15歳以上人口の配偶関係

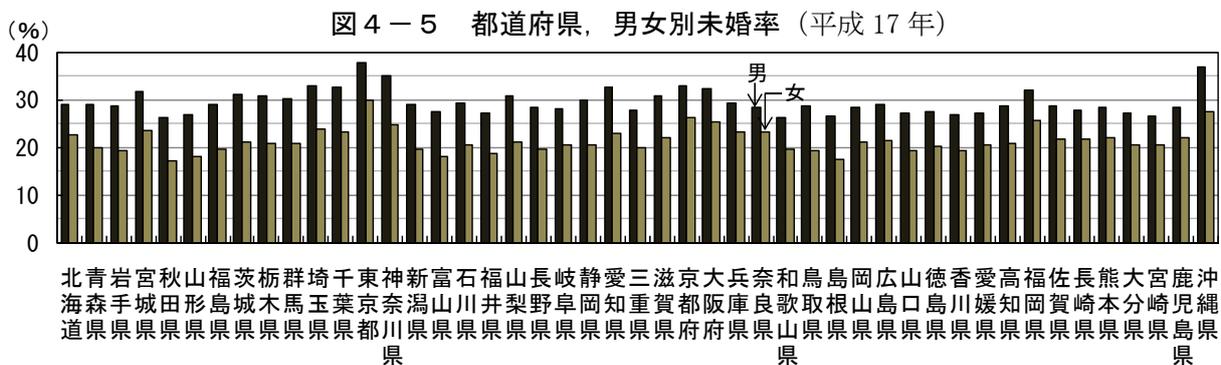
<都道府県の配偶関係>

男女共に東京都で高い未婚率

都道府県別に配偶関係別割合をみると、男性の未婚率は、東京都が37.9%と最も高く、次いで沖縄県（36.8%）、神奈川県（35.2%）などとなっており、これらを含む10都府県で全国平均（31.4%）を上回っている。一方、秋田県が26.4%と最も低く、次いで和歌山県（26.5%）、島根県及び宮崎県（共に26.8%）などとなっている。

女性は、東京都が29.9%と最も高く、次いで沖縄県（27.4%）、京都府（26.2%）などとなっており、これらを含む11都府県で全国平均（23.2%）を上回っている。一方、秋田県が17.2%と最も低く、次いで島根県（17.6%）、山形県（18.0%）などとなっている。

（図4-5、表4-6）

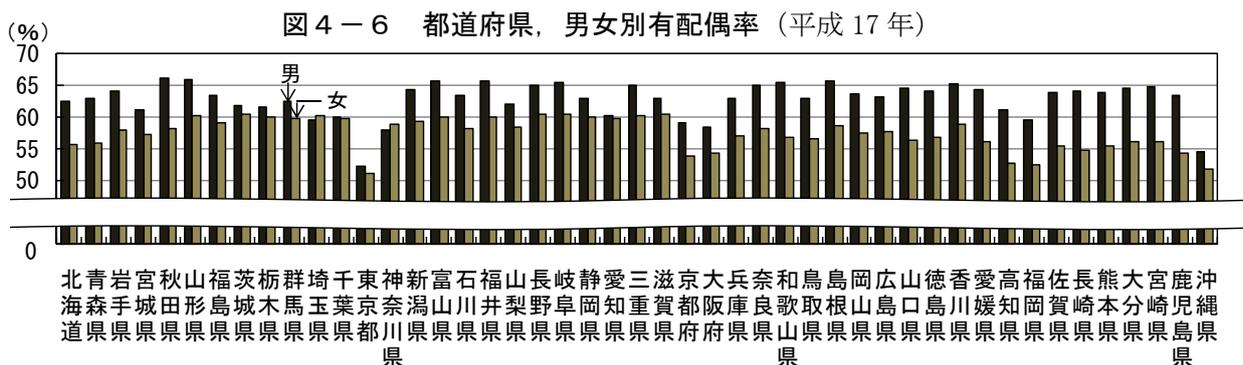


女性の有配偶率が最も高いのは岐阜県

有配偶率をみると、男性では未婚率とはほぼ逆の傾向となっており、秋田県が66.1%と最も高く、次いで山形県（66.0%）、富山県及び福井県（共に65.8%）などとなっている。一方、東京都が52.3%と最も低く、次いで沖縄県（54.5%）、神奈川県（58.0%）などとなっている。

女性は死別率が男性に比べ高いことから、男性のように未婚率との関係は強くなく、岐阜県が60.6%と最も高く、次いで茨城県（60.5%）、滋賀県及び長野県（共に60.4%）などとなっている。一方、東京都が51.2%と最も低く、次いで沖縄県（51.8%）、福岡県（52.6%）などとなっている。

（図4-6、表4-6）



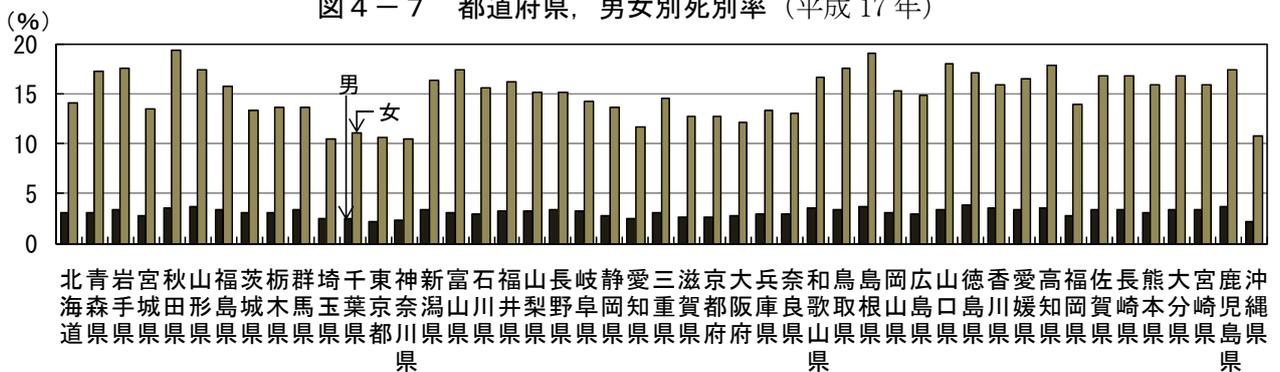
大都市を含む都府県で低い死別率

死別率は男女共に、年齢構成の若い大都市を含む都府県及びその周囲の県と沖縄県で低い傾向となっている。

男性では、徳島県が3.9%と最も高く、次いで島根県及び鹿児島県（共に3.7%）などとなっている。一方、東京都及び沖縄県が共に2.2%と最も低く、次いで神奈川県（2.3%）などとなっている。

女性では、秋田県が19.4%と最も高く、次いで島根県（19.2%）、山口県及び高知県（共に18.0%）などとなっている。一方、神奈川県及び埼玉県が共に10.5%と最も低く、次いで東京都（10.7%）などとなっている。このように、65歳以上人口割合の高い県での死別率が高くなっており、また、夫妻の年齢差や男女の平均余命の差などもあって、すべての都道府県で女性の死別率が男性を大きく上回っている。（図4-7、表4-6）

図4-7 都道府県，男女別死別率（平成17年）

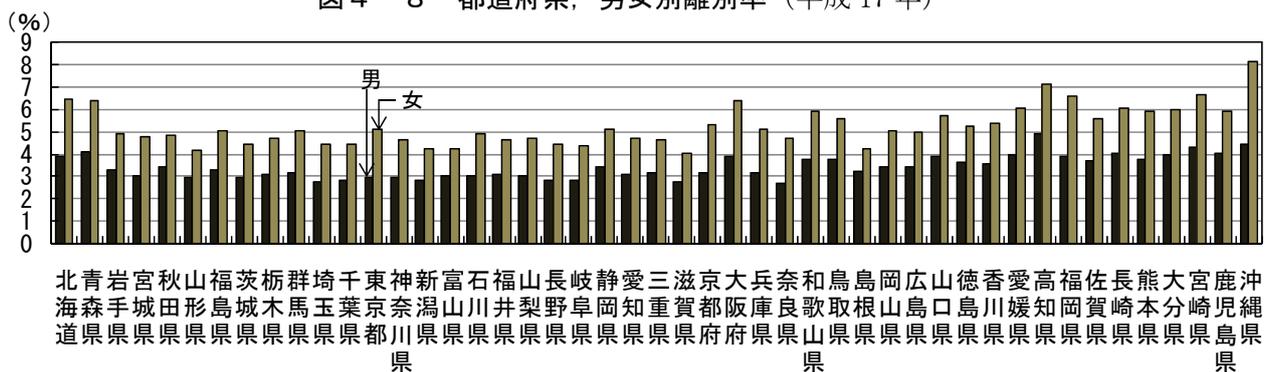


沖縄県の女性で最も高い離別率

離別率についてみると、男性は高知県が4.9%と最も高く、次いで沖縄県（4.5%）、宮崎県（4.3%）などとなっている。一方、奈良県及び滋賀県が共に2.7%と最も低く、次いで埼玉県、新潟県など5県で2.8%と続いている。

女性は沖縄県が8.1%と最も高く、次いで高知県（7.1%）、宮崎県及び福岡県（共に6.6%）などとなっている。一方、滋賀県の4.0%が最も低く、次いで山形県、新潟県など4県が4.2%と続いている。（図4-8、表4-6）

図4-8 都道府県，男女別離別率（平成17年）



年齢構成を標準化した未婚率でも、男女共に東京都が最も高い

配偶関係別割合は、前述したように年齢構成の影響を受けるので、各都道府県の年齢構成が全国の年齢構成と同じと仮定して標準化した各都道府県の配偶関係別割合をみてる。

標準化未婚率は、男性は東京都が35.7%と最も高く、滋賀県が28.7%と最も低い。女性も東京都が28.1%と最も高く、福井県が20.0%と最も低い。標準化有配偶率は、標準化未婚率とほぼ逆の傾向となっており、男性は滋賀県及び岐阜県が共に64.8%と最も高く、東京都が53.9%と最も低い。女性は山形県が61.4%と最も高く、東京都が51.3%と最も低くなっている。男性は、主に大都市を含む県やその周囲の県で、標準化未婚率は未婚率よりも低くなっており、標準化有配偶率は有配偶率よりも高くなっている。女性は、主に大都市を含む県やその周囲で、標準化未婚率が未婚率よりも低くなっており、標準化有配偶率も有配偶率よりも低くなっている。

標準化死別率は、男性は徳島県が3.3%と最も高く、東京都が2.5%と最も低い。女性は青森県が15.7%と最も高く、東京都が12.2%と最も低い。

標準化離別率は、男性は高知県が4.9%と最も高く、奈良県及び埼玉県が共に2.7%と最も低い。女性は沖縄県が8.4%と最も高く、滋賀県が4.1%と最も低い。男女共に、主に大都市を含む都府県やその周囲で、標準化死別率は死別率よりも高くなっている。

(表4-6)

表4-6 男女、配偶関係別15歳以上人口の割合—都道府県（平成17年）

(%)

都道府県	配偶関係別割合								全国の年齢構成で標準化した配偶関係別割合							
	男				女				男				女			
	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
全 国	31.4	60.8	2.9	3.3	23.2	57.0	13.5	5.2	31.4	60.8	2.9	3.3	23.2	57.0	13.5	5.2
北海道	29.1	62.6	3.1	3.9	22.7	55.7	14.1	6.5	30.0	61.9	2.9	3.9	23.7	55.0	13.9	6.4
青森県	29.1	63.0	3.2	4.1	20.0	55.8	17.3	6.4	30.7	61.7	3.0	4.0	22.0	55.5	15.7	6.4
岩手県	28.8	64.1	3.5	3.3	19.4	58.0	17.6	4.9	31.2	62.2	2.9	3.3	21.5	58.6	14.7	5.0
宮城県	31.9	61.1	2.8	3.1	23.7	57.3	13.5	4.8	30.4	62.5	2.8	3.1	22.4	58.3	13.7	4.9
秋田県	26.4	66.1	3.6	3.4	17.2	58.2	19.4	4.8	30.6	62.8	2.9	3.4	21.2	58.3	15.2	5.0
山形県	27.1	66.0	3.6	3.0	18.0	60.2	17.5	4.2	29.7	64.1	2.9	3.0	20.2	61.4	13.8	4.4
福島県	29.0	63.4	3.5	3.3	19.7	59.0	15.8	5.1	30.3	62.5	3.1	3.3	20.7	59.9	13.8	5.2
茨城県	31.3	61.8	3.2	3.0	21.2	60.5	13.4	4.4	31.4	61.6	3.2	2.9	21.0	60.5	13.5	4.4
栃木県	31.0	61.7	3.1	3.1	21.0	60.0	13.7	4.7	31.1	61.6	3.2	3.0	21.0	60.0	13.7	4.7
群馬県	30.2	62.6	3.4	3.2	21.0	59.9	13.7	5.0	31.3	61.8	3.2	3.1	21.8	59.8	13.0	5.0
埼玉県	33.1	59.6	2.5	2.8	23.9	60.3	10.5	4.4	32.0	60.2	3.0	2.7	22.5	59.0	13.2	4.3
千葉県	32.6	60.1	2.5	2.8	23.5	59.8	11.1	4.5	31.9	60.5	2.8	2.8	22.7	58.7	13.0	4.4
東京都	37.9	52.3	2.2	2.9	29.9	51.2	10.7	5.1	35.7	53.9	2.5	3.1	28.1	51.3	12.2	5.2
神奈川県	35.2	58.0	2.3	2.9	24.9	59.0	10.5	4.6	33.4	59.2	2.7	3.0	23.6	58.0	12.7	4.6
新潟県	29.0	64.3	3.4	2.8	19.8	59.3	16.4	4.2	31.2	62.7	2.9	2.8	21.7	60.1	13.6	4.3
富山県	27.4	65.8	3.2	3.0	18.1	59.9	17.5	4.2	29.8	63.9	2.7	3.0	20.7	60.1	14.8	4.3
石川県	29.4	63.5	2.9	3.1	20.6	58.2	15.7	4.9	29.3	63.7	2.7	3.1	21.4	58.6	14.4	4.9
福井県	27.4	65.8	3.2	3.1	18.8	60.1	16.2	4.6	28.9	64.7	2.8	3.1	20.0	61.1	13.9	4.7
山梨県	30.8	62.1	3.3	3.0	21.1	58.4	15.2	4.7	31.7	61.5	2.9	3.0	21.8	59.3	13.5	4.8
長野県	28.4	65.0	3.4	2.8	19.7	60.4	15.2	4.5	31.0	63.0	2.8	2.9	21.8	60.9	12.5	4.5
岐阜県	28.1	65.5	3.3	2.8	20.5	60.6	14.3	4.3	29.0	64.8	3.0	2.8	20.8	60.7	13.9	4.4
静岡県	30.0	63.0	2.9	3.4	20.7	60.0	13.7	5.1	31.3	61.9	2.8	3.3	21.6	59.6	13.3	5.0
愛知県	32.6	60.3	2.5	3.1	23.0	59.8	11.7	4.7	30.9	61.5	2.9	3.1	21.6	59.4	13.6	4.7
三重県	27.9	65.1	3.1	3.1	20.0	60.2	14.6	4.7	29.0	64.1	2.9	3.1	20.8	60.3	13.6	4.7
滋賀県	30.9	62.9	2.6	2.7	22.2	60.4	12.8	4.0	28.7	64.8	2.8	2.8	20.6	61.3	13.5	4.1
京都府	33.1	59.2	2.7	3.1	26.2	53.9	12.8	5.3	31.4	60.8	2.7	3.2	24.9	55.1	12.8	5.4
大阪府	32.3	58.5	2.7	3.9	25.5	54.3	12.2	6.4	31.8	58.7	3.0	3.9	24.7	53.6	13.7	6.4
兵庫県	29.3	62.9	2.9	3.2	23.4	57.0	13.4	5.1	29.9	62.4	2.9	3.2	23.3	56.7	13.8	5.1
奈良県	28.6	65.0	3.0	2.7	23.3	58.2	13.2	4.7	28.9	64.7	2.9	2.7	23.0	58.2	13.6	4.7
和歌山県	26.5	65.4	3.6	3.7	19.7	56.9	16.8	5.9	29.3	63.3	3.0	3.7	22.1	57.0	14.3	6.0
鳥取県	28.6	63.0	3.5	3.7	19.4	56.6	17.6	5.6	30.0	62.2	2.9	3.8	21.2	58.1	14.2	5.7
島根県	26.8	65.7	3.7	3.2	17.6	58.6	19.2	4.2	30.2	63.2	2.8	3.3	20.7	60.4	13.9	4.5
岡山県	28.4	63.7	3.1	3.5	21.2	57.5	15.3	5.0	29.3	63.1	2.7	3.5	21.6	58.8	13.5	5.1
広島県	29.1	63.2	3.0	3.4	21.4	57.8	15.0	5.0	29.6	62.9	2.8	3.4	22.0	58.2	14.0	5.0
山口県	27.2	64.7	3.5	3.9	19.3	56.4	18.0	5.7	30.0	62.5	2.8	3.9	22.2	56.9	14.6	5.8
徳島県	27.7	64.1	3.9	3.6	20.2	56.8	17.2	5.2	30.0	62.4	3.3	3.6	22.1	57.7	14.3	5.4
香川県	26.9	65.2	3.5	3.6	19.4	58.8	16.0	5.4	29.1	63.5	2.9	3.6	21.3	59.3	13.6	5.4
愛媛県	27.3	64.4	3.5	3.9	20.6	56.1	16.6	6.0	29.8	62.5	2.9	3.9	22.8	56.5	14.0	6.1
高知県	28.9	61.1	3.6	4.9	20.8	52.9	18.0	7.1	32.0	58.9	2.8	4.9	23.9	53.8	13.9	7.3
福岡県	32.0	59.6	2.8	3.9	25.6	52.6	14.0	6.6	30.4	61.0	2.8	4.0	24.7	53.4	14.0	6.7
佐賀県	28.6	63.9	3.4	3.7	21.9	55.4	16.9	5.6	29.4	63.5	3.0	3.7	22.6	56.9	14.6	5.8
長崎県	27.8	64.2	3.4	4.0	21.9	54.8	16.9	6.1	29.8	62.7	2.9	4.0	23.7	55.4	14.3	6.1
熊本県	28.4	63.8	3.2	3.7	22.0	55.4	15.9	5.9	29.4	63.3	2.6	3.8	23.3	56.7	13.4	6.1
大分県	27.2	64.7	3.5	4.0	20.7	56.2	16.8	6.0	29.4	63.2	2.9	4.0	22.9	56.6	14.1	6.0
宮崎県	26.8	64.8	3.3	4.3	20.6	56.1	16.0	6.6	28.8	63.3	2.8	4.3	22.2	56.7	13.7	6.8
鹿児島県	28.5	63.4	3.7	4.1	22.1	54.3	17.4	6.0	30.4	62.2	3.0	4.1	23.5	56.1	14.0	6.2
沖縄県	36.8	54.5	2.2	4.5	27.4	51.8	10.9	8.1	33.3	57.4	2.7	4.7	23.7	53.7	12.4	8.4

注) 標準化は、全国の男女、年齢（5歳階級）別15歳以上人口を標準人口として計算した。すなわち、15歳以上人口の年齢構成が仮に全国の年齢構成と同じであったとした場合に、配偶関係別割合がどうなるかを計算したものである。

標準化した配偶関係別割合 $m^{\cdot k}$ は次式によって求められる。

$$m^{\cdot k} = \frac{\sum_{i=1}^n m_i^k \times P_i}{\sum_{i=1}^n P_i}$$

m : 配偶関係別割合, P : 全国の15歳以上人口, k : 都道府県, i : 年齢階級

<25歳から34歳までの未婚率>

25歳から34歳までの未婚率は大都市を含む都府県とその周囲で高い傾向

未婚率を都道府県別にみると、男性の25～29歳では、東京都が81.3%と最も高く、次いで神奈川県(75.8%)、京都府(74.5%)などとなっており、8都府県で全国平均(71.4%)を上回っている。一方、最も低いのは宮崎県の62.8%で、次いで山形県及び福島県(共に63.7%)などとなっている。また、男性の30～34歳では、東京都が57.7%と最も高く、次いで神奈川県(50.6%)、埼玉県(49.5%)などとなっており、5都府県で全国平均(47.1%)を上回っている。一方、最も低いのは宮崎県の39.8%で、次いで鹿児島県(41.0%)、香川県(41.3%)などとなっている。

女性の25～29歳では、東京都が70.1%と最も高く、次いで京都府(64.3%)、奈良県(63.5%)などとなっており、9都府県で全国平均(59.0%)を上回っている。一方、最も低いのは福島県の49.5%で、次いで山形県(49.8%)、岩手県(51.1%)などとなっている。また、女性の30～34歳では、東京都が42.9%と最も高く、次いで京都府及び福岡県(共に34.9%)などとなっており、9都道府県で全国平均(32.0%)を上回っている。一方、最も低いのは福井県の24.1%で、次いで滋賀県(25.4%)、山形県(25.6%)などとなっている。

このように、25歳から34歳まででは男女共に大都市を含む都府県とその周囲で未婚率が高い傾向にあり、特に東京都は他の道府県に比べ5ポイント以上高くなっている。

なお、平成12年と比べると、25歳から34歳までの未婚率は、25～29歳の山形県の男性を除いて、男女共にすべての都道府県で上昇している。(図4-9、表4-7)

図4-9 都道府県，男女別 30～34歳人口の未婚率（平成17年）

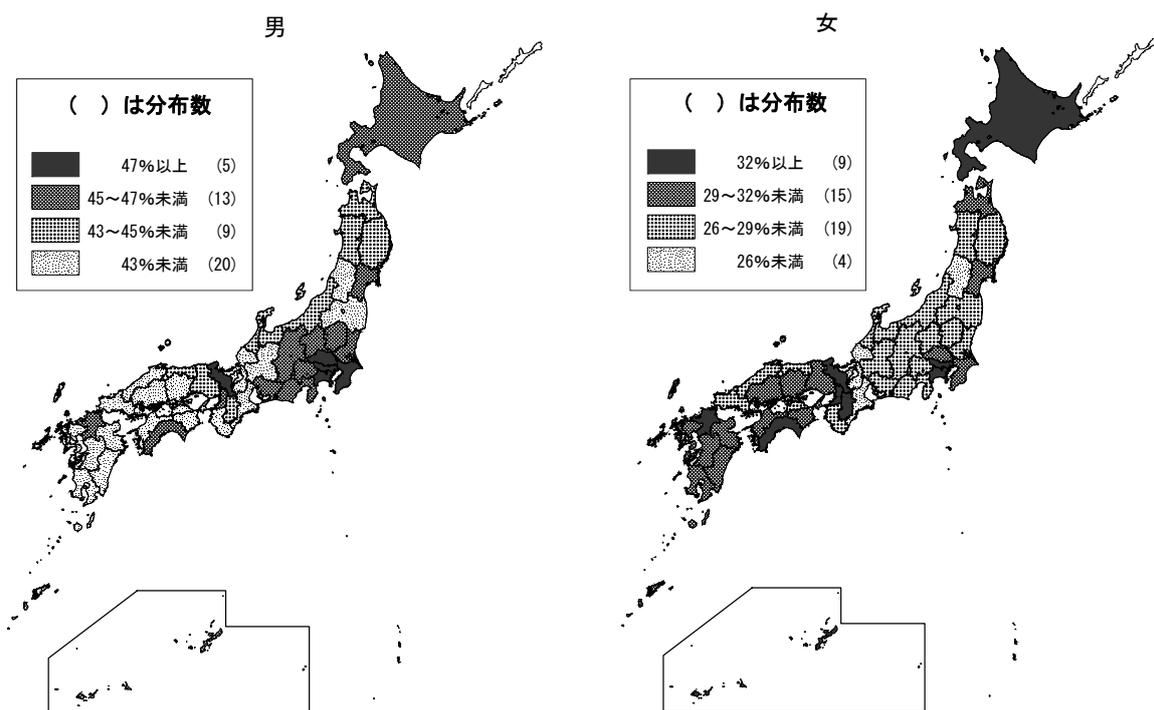


表4-7 25歳から34歳までの男女、年齢（5歳階級）別未婚率
—都道府県（平成12年・17年）

(%)

都道府県	平成17年				12年			
	男		女		男		女	
	25～29歳	30～34歳	25～29歳	30～34歳	25～29歳	30～34歳	25～29歳	30～34歳
全 国	71.4	47.1	59.0	32.0	69.3	42.9	54.0	26.6
北海道	67.8	45.1	57.0	33.8	64.8	39.0	52.6	28.3
青森県	66.7	44.2	53.3	29.2	64.0	40.3	48.9	24.2
岩手県	64.6	44.4	51.1	28.3	63.7	42.1	48.2	24.2
宮城県	67.4	45.1	56.6	31.3	66.7	41.6	52.6	26.1
秋田県	66.1	44.2	53.0	27.7	64.8	40.6	48.7	22.7
山形県	63.7	42.1	49.8	25.6	64.4	39.8	47.0	20.3
福島県	63.7	43.0	49.5	26.1	62.5	40.1	45.9	21.6
茨城県	70.0	47.0	55.6	28.6	68.0	42.9	50.8	21.7
栃木県	68.5	46.2	53.3	27.6	67.1	42.0	49.4	21.6
群馬県	67.9	45.0	54.0	28.1	66.1	40.6	49.7	22.7
埼玉県	73.9	49.5	59.6	31.7	71.5	44.0	54.6	25.1
千葉県	74.4	49.1	60.5	32.0	72.5	44.7	55.0	25.8
東京都	81.3	57.7	70.1	42.9	79.4	54.1	65.3	37.6
神奈川県	75.8	50.6	60.9	32.1	74.2	46.6	55.4	26.4
新潟県	67.8	44.7	55.0	28.7	65.9	41.7	50.3	23.8
富山県	68.8	43.5	54.6	26.8	65.6	38.5	49.3	20.8
石川県	68.9	43.2	57.0	28.0	65.8	37.7	50.1	21.8
福井県	67.7	41.5	53.7	24.1	65.3	37.0	47.6	17.6
山梨県	70.4	46.6	56.4	28.7	69.0	42.7	51.9	22.6
長野県	69.5	45.7	55.6	28.7	68.9	42.3	52.1	23.7
岐阜県	68.8	42.5	55.0	26.2	66.8	37.8	50.7	21.0
静岡県	68.7	45.6	53.8	28.0	68.2	42.2	50.8	23.6
愛知県	71.8	45.7	55.8	27.0	68.5	40.5	49.5	21.7
三重県	67.2	42.0	53.5	25.9	64.7	37.4	47.9	20.4
滋賀県	68.9	41.8	55.0	25.4	66.7	37.3	48.8	19.2
京都府	74.5	47.6	64.3	34.9	71.3	42.6	58.0	29.3
大阪府	72.2	46.7	61.9	34.3	69.1	42.0	55.2	29.1
兵庫県	70.0	43.2	59.7	31.0	67.0	38.8	53.2	26.0
奈良県	73.0	44.1	63.5	32.2	69.6	37.6	56.6	25.0
和歌山県	66.0	41.5	55.4	28.6	63.4	36.8	50.2	23.3
鳥取県	66.7	43.7	54.1	28.0	65.0	40.9	49.1	22.6
島根県	64.9	42.7	51.8	26.3	63.7	39.3	47.5	21.7
岡山県	66.9	42.6	55.2	29.5	63.6	37.7	50.0	23.4
広島県	67.5	43.0	55.9	29.5	65.4	38.8	50.9	24.6
山口県	66.1	42.7	54.9	28.8	63.5	38.4	50.0	24.7
徳島県	66.9	41.9	55.3	29.7	63.1	37.7	50.1	23.8
香川県	65.8	41.3	53.8	27.4	62.8	37.3	48.3	22.3
愛媛県	65.1	42.2	55.0	30.2	63.5	38.0	51.0	25.6
高知県	67.5	45.1	57.4	33.1	64.8	41.1	52.3	28.2
福岡県	70.5	45.3	62.3	34.9	67.7	41.4	56.9	29.9
佐賀県	65.4	42.6	56.2	29.9	64.7	39.5	52.8	25.1
長崎県	65.1	41.4	56.9	31.5	63.7	38.5	52.9	26.7
熊本県	64.8	41.5	55.7	31.0	64.0	37.6	53.1	26.3
大分県	66.8	42.5	57.8	31.1	64.2	38.1	53.0	26.6
宮崎県	62.8	39.8	53.4	29.1	61.2	36.8	49.9	25.2
鹿児島県	64.0	41.0	56.0	31.4	63.7	37.9	53.2	27.1
沖縄県	66.6	46.6	55.4	33.8	66.4	43.5	53.9	29.1